

2025 年 8 月 16 日

臨床データ利用のお願い

海南病院では、以下の研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることをご希望されない場合などお問い合わせがありましたら、お手数ですが以下の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

気管切開カニューレ抜去のプロトコル導入における現状と課題

2. 研究責任者

海南病院 看護部 集中治療室 山守めぐみ

3. 研究の概要

当院では、気管切開患者の診療において、多職種連携による RST（呼吸サポートチーム）活動を行っています。長期に渡り人工呼吸器の管理が必要な場合や分泌物を処理ができない場合は、喉から気管切開カニューレを挿入し人工気道を確保する必要があります。気管切開患者さんの中には病態が回復した場合には、気管切開カニューレの抜去が可能となることがあります。気管切開カニューレの抜去に関する標準化されたアプローチを確立し、患者さんの生活の質の向上や転院・在宅への円滑な調整を目指すために 2021 年より気管切開カニューレ抜去のプロトコルを導入しました。

この研究では、気管切開カニューレ抜去のプロトコルを導入することで、患者さんの人工呼吸器管理や気管切開カニューレ管理にどのような効果をもたらしているかを調べ、より安全な医療を提供するための改善点を見つけることを目的としています。

＊気管切開カニューレ抜去プロトコル：

チェック表を活用して、気管切開カニューレ抜去の水準を満たしているか評価し、段階的な手順を踏みながら、安全に抜去する指標となります。

研究方法

1) 対象となる患者さん

2021 年 1 月～2025 年 3 月の期間に気管切開を実施した患者さん

2) 調査期間

2021 年 1 月 1 日～2025 年 3 月 1 日

3) 調査方法

後方視的に診療録調査を行い、以下の調査項目について調査します

カルテ情報：年齢・疾患・転帰・人工呼吸器管理期間・気管切開管理期間

4) 分析方法

下記の項目に対し、統計ソフトを活用して分析いたします。

- ① 気管切開患者さんの総数とプロトコル介入基準となった件数の単純集計
- ② 完全抜去に至った患者さんと完全抜去に至らなかった患者さんの比較
- ③ 気管切開カニューレの完全抜去に至る期間と人工呼吸管理期間の集計

4. 個人情報の取扱い

貴重な患者さんの個人情報は、「個人情報保護法」及び「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」など各種法令に基づいて管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

5. 問い合わせ先・相談窓口

JA 愛知厚生連 海南病院 看護部 集中治療室 山守めぐみ

電話：0567-65-2511（代表）